

【株主の皆様へ】

# 第68期 中間報告書

2022.4.1～2022.9.30

# グループ経営理念

山一電機グループは、人・企業・社会・地球とのより良い結びつきを柔軟な技術力と発想力をもって意欲的に創造する「もっとしなやかにベターコネクション」をコーポレートスローガンに、お客様の価値創出に貢献します。

1

## 人の尊重

人を育て、人を活かし、  
会社の発展と  
個人の幸せの共有を  
目指します。

2

## 企業価値の最大化

株主をはじめとしたステーク  
ホルダーの要請に応え、  
適正利潤を追求し、  
企業価値の最大化を目指します。

3

## 企業品質の向上

信頼の最大の基盤である  
優れた製品品質と企業品質を  
提供することによって、  
顧客の満足を図ります。

4

## 技術立社への挑戦

開発型企業として、  
たゆまず技術の創造と革新に挑戦し、  
半歩先をゆく技術を提供します。

5

## 社会的役割の達成

常に社会との調和を図り、  
社会から信頼される企業で  
あり続けます。

### セグメント別売上高構成比と主要な事業内容 (2022年9月30日時点)

#### 光関連事業 3.6%

RGBフィルタ、UV/IRカットフィルタ、  
ダイクロイックフィルタ・ミラー、  
蛍光ダイクロイックフィルタ、  
ショート/ロングパスフィルタ、  
バンドパスフィルタ、半導体レーザ光源

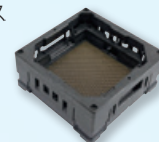
#### コネクタソリューション事業 39.1%

高速伝送用コネクタ、カードコネクタ、  
インターフェースコネクタ、基板コネクタ、  
圧接コネクタ、実装用ICソケット、その他各種コネクタ、  
YFLEX(高速伝送用ケーブル、実装基板)

売上高  
27,166  
百万円

#### テストソリューション事業 57.3%

バーンインソケット、  
テストソケット、  
半導体テスト関連サービス



# ごあいさつ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。  
2023年3月期第2四半期(2022年4月1日から2022年9月30日まで)の事業概況をお届けし、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 亀谷 淳一

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、各国の経済活動の正常化が進んだことにより経済の持ち直しが見られました。しかしながら、中国でのロックダウンによるサプライチェーンの混乱に加え、ウクライナ問題の長期化に伴うエネルギー・資源価格の上昇などに起因する世界的なインフレの進行並びに、欧米諸国を中心とした金融政策の方向転換から急激な円安の進行などにより、先行き不透明感が強まりました。

このような状況の下、当社グループは、世界的な半導体不足に起因する半導体の需要拡大及び、主要市場である欧州産業機器市場での投資回復による需要拡大等により多様化する市場ニーズへスピーディーに対応を行い、生産体制強化と原価低減及び品質改善を進め、原材料費や輸送費のコストアップ影響を最小限に留めるべく努力を続けてまいりました。

その結果、当社グループは第2四半期会計期間及び累計期間共に経営成績として過去最高を更新いたしました。当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高 27,166百万円(前年同期比 46.4%増)、営業利益 6,667百万円(前年同期比 81.3%増)、経常利益 7,286百万円(前年同期比 93.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益 5,244百万円(前年同期比 76.0%増)となりました。

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、下期において、半導体市場の減速に伴う設備投資抑制、スマートフォンを中心としたモバイル機器市場の低迷等、厳しい状況が予想されますが、半導体不足の改善から自動車市場向け製品の需要回復が予想されます。また、損益面では、エネルギー価格及び原材料費・輸送費の高騰に加え、新工場建築に関わる経費等の支出増加を見込んでおります。

以上の見直しから、当社グループにおける2023年3月期連結業績予想を、売上高 45,700百万円(前年同期比 15.6%増)、営業利益 8,000百万円(前年同期比 4.5%減)、経常利益 8,600百万円(前年同期比 1.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益 6,000百万円(前年同期比 11.4%減)としております。

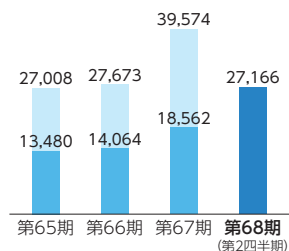
なお、中間配当につきましては、1株当たり35円といたしました。期末配当につきましては、配当性向30%を基準に1株当たり52円、通期では87円を予定しておりますが、最終配当金額につきましては、2023年3月期期末決算時の純利益額にて調整させていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともますますのご支援とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

## ■ 連結業績ハイライト

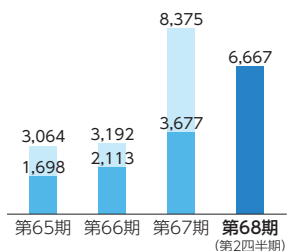
### 売上高

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:百万円)



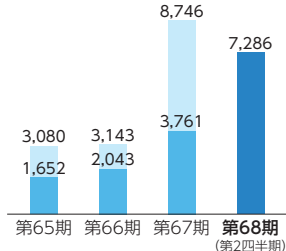
### 営業利益

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:百万円)



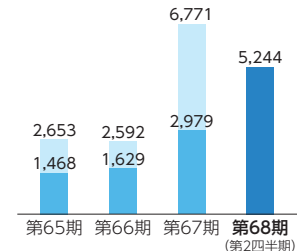
### 経常利益

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:百万円)



### 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:百万円)

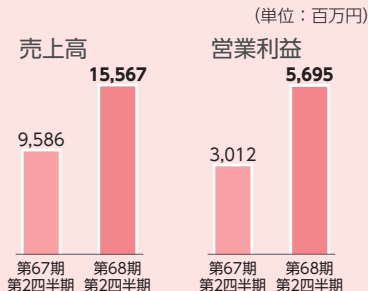


# セグメント情報

## テストソリューション事業

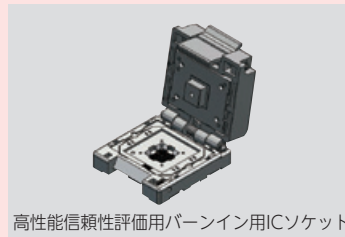
バーンインソケット、テストソケット、半導体テスト関連サービス

売上高構成比  
57.3%



### 高性能信頼性評価用バーンイン用ICソケットの拡充

スマートフォンのプロセッサは年を追うごとに高性能化しており、それに伴い周辺に使われるICも進化しております。パワーマネジメントICなどでは、バーンイン用ICソケットを使用した信頼性評価を行う際、ICソケットを介している影響を少なくすることを目的として、より短い接触子を採用した製品が求められることがあります。このようなご要求にお応えるために、テスト基板とICを接続するICソケットの接触子を従来製品より約4割短くした製品を開発いたしました。今後もお客様のニーズにお応えする技術開発に取り組み、最適なテストソリューションを提案してまいります。

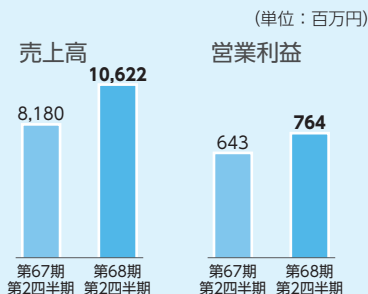


高性能信頼性評価用バーンイン用ICソケット

## コネクタソリューション事業

高速伝送用コネクタ、実装用ICソケット、YFLEX（高速伝送用ケーブル）等

売上高構成比  
39.1%



### 400Gbpsイーサネット対応 光通信モジュール用コネクタに高電流対応品をラインアップ

イーサネット伝送の基幹通信システム市場では、これまでの100Gbps伝送の規格から400Gbps伝送へのシフトが加速しており大容量高速通信に使用するハイパワーモジュールに対応した高電流対応のコネクタ製品が必要とされてきております。長距離伝送製品にて大きなシェアを獲得している当社は、CFP2ファミリーにて400Gbps 2.2Aの高電流に対応したコネクタをラインアップに加え量産出荷を開始しております。今後、更なる伝送データ容量の増加と伝送性能の高速化が加速する市場へ対応するために、市場トレンドを先取りし、市場より先行した製品開発を進めてまいります。

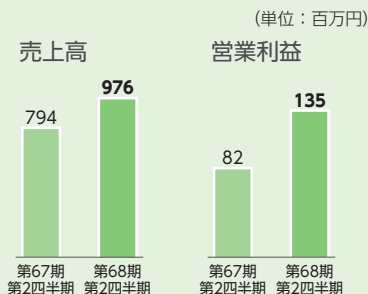


Host コネクタ Plug コネクタ  
400Gbpsイーサネット対応  
高電流光通信モジュールコネクタ (CFP2)

## 光関連事業

RGBフィルタ、蛍光ダイクロイックフィルタ、ショート/ロングパスフィルタ、半導体レーザ光源等

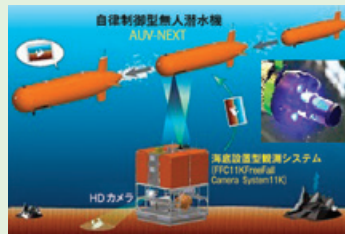
売上高構成比  
3.6%



### 水中光無線通信システム用低入射角依存フィルタを開発

メタンハイドレート等の海底エネルギー資源の探査、洋上風力発電用設備や光海底ケーブルの保守・点検に無線で航行する自律制御型無人潜水機 (AUV) が期待されております。AUVが収集した画像や動画のデータを低コストで安全に回収するため、海中での無線データ通信技術が求められていますが、水中では電波はほとんど伝搬せず、また音波による通信は通信容量が小さく、高画質の画像や動画を扱えないという問題がありました。

光関連部門では、水中での大容量通信を可能にする光無線通信装置に搭載する光学フィルタを開発いたしました。当社独自の技術により、水中で拡散する光線に対しても通信品質を落とすことなく大容量通信を可能にする光学フィルタを実現いたしました。

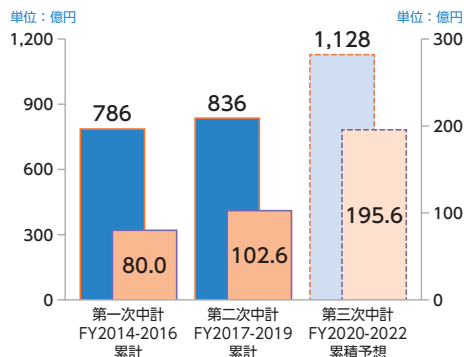


光っている2つの窓に当社の光学フィルタが使われております。

# トピックス

## 第2四半期累計期間として最高売上高ならびに利益を更新いたしました。

### 第三次中期経営計画（2020年度～2022年度）進捗について



	第三次中期経営計画目標値
売上高	883億円
営業利益	111億円
設備投資	100億円
配当性向	30.0%以上
ROE	10.0%以上



	2020年度実績	2021年度実績	2022年度予想	第三次中計合計	達成率
売上高	276億円	395億円	457億円	1,128億円	128%
営業利益	31.9億円	83.7億円	80.0億円	195.6億円	176%
設備投資	38.1億円	27.8億円	44.2億円	110.1億円	110%
配当性向	30.6%	30.1%	30%以上	—	—
ROE	10.7%	23.7%	—	—	—

## 当社の連結子会社であるPMI Holdings, Inc.がフィリピンにて土地を取得

世界的な半導体需要の拡大による半導体テストソケットの安定した供給体制の構築及び、車載機器、通信機器、産業機器への多様化する顧客ニーズに対し、よりスピーディーに対応するため、当社の連結子会社であるPricon Microelectronics, Inc.（フィリピン）の新規生産工場（第三工場）を建設し生産能力の増強を目指します。なお、新規生産工場の建設開始時期等は現在未定であり、確定次第速やかに開示いたします。

### ・取得資産の内容

所在地	Lots 1-2 Block 5 Elysan Road, Light Industry & Science Park IV (LISP IV) , Brgy. Bulihan, Malvar, Batangas Philippines
取得土地面積	33,696㎡
取得金額	350百万フィリピン・ペソ（約9億円）
資金計画	自己資金

参考：現在稼働するフィリピンの第一工場と隣接する第二工場の敷地合計面積：18,595㎡

## 自己株式の取得について

取締役会決議内容			自己株式取得実績		
決議日	取得上限株数 (単位：株)	取得上限金額	取得株数 (単位：株)	取得金額	取得期間 (受渡日基準)
2022年5月27日	400,000	700,000,000円	400,000	697,825,300円	2022年6月3日～2022年8月12日

配当と自己株式取得により、引き続き総還元性向の向上を図ってまいります。

# 連結財務諸表

## ■ 第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 (2022年9月30日現在)	前期末 (2022年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>35,629</b>	<b>30,227</b>
現金及び預金	16,376	13,573
受取手形及び売掛金	9,840	8,480
有価証券	10	10
棚卸資産	7,084	6,388
その他	2,318	1,774
<b>固定資産</b>	<b>16,176</b>	<b>15,144</b>
有形固定資産	14,443	13,601
無形固定資産	241	244
投資その他の資産	1,491	1,297
<b>資産合計</b>	<b>51,806</b>	<b>45,372</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>12,629</b>	<b>10,675</b>
支払手形及び買掛金	2,407	2,377
短期借入金	3,708	2,896
その他	6,513	5,400
<b>固定負債</b>	<b>2,740</b>	<b>2,703</b>
長期借入金	300	300
その他	2,440	2,403
<b>負債合計</b>	<b>15,370</b>	<b>13,378</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>34,062</b>	<b>31,227</b>
資本金	10,084	10,084
資本剰余金	1,788	1,788
利益剰余金	25,540	22,008
自己株式	△ 3,351	△ 2,653
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>2,053</b>	<b>457</b>
新株予約権	179	181
非支配株主持分	141	126
<b>純資産合計</b>	<b>36,436</b>	<b>31,993</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>51,806</b>	<b>45,372</b>

## ■ 第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>売上高</b>	<b>27,166</b>	<b>18,562</b>
売上原価	15,868	11,351
<b>売上総利益</b>	<b>11,298</b>	<b>7,211</b>
販売費及び一般管理費	4,630	3,534
<b>営業利益</b>	<b>6,667</b>	<b>3,677</b>
営業外収益	722	118
営業外費用	103	34
<b>経常利益</b>	<b>7,286</b>	<b>3,761</b>
特別利益	0	0
特別損失	—	0
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>7,287</b>	<b>3,761</b>
法人税、住民税及び事業税	2,181	747
法人税等調整額	△ 148	31
<b>四半期純利益</b>	<b>5,253</b>	<b>2,982</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	2
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>5,244</b>	<b>2,979</b>

## ■ 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,188	3,316
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,503	△ 1,155
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,998	△ 1,227
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,115	38
現金及び現金同等物の増減額	2,801	972
現金及び現金同等物の期首残高	13,548	9,448
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,350	10,421

# 会社概要 (2022年9月30日現在)

## 会社の概要

商号	山一電機株式会社
所在地	東京都大田区南蒲田2丁目16番2号
設立	1956年11月
資本金	100億8,410万円
従業員数	392名 (連結 2,150名)
主な事業内容	1. テストソリューション事業 2. コネクタソリューション事業 3. 光関連事業

## 株式の状況

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	23,329,775株
株主数	8,087名
単元株式数	100株
大株主	

株主名	持株数	持株比率
	株	%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	3,121,200	15.05
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,703,000	13.03
RE FUND 107-CLIENT AC	950,500	4.58
GOVERNMENT OF NORWAY	526,600	2.53
日本生命保険相互会社	421,075	2.03
RBC ISB LUX NON RES/DOM RATE-UCITS CLIENTS ACCOUNT-MIG	385,000	1.85
山一電機従業員持株会	369,288	1.78
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	330,907	1.59
MSCO CUSTOMER SECURITIES	321,500	1.55
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	267,600	1.29

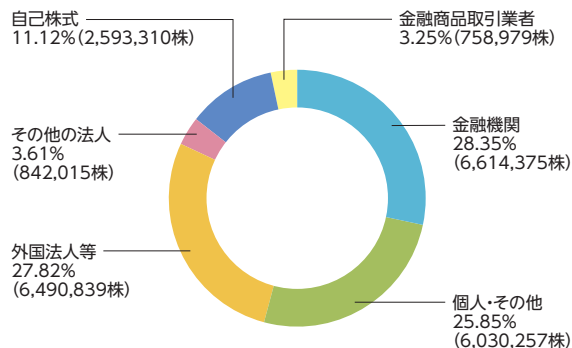
(注) 1. 当社は、自己株式を2,593,310株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式2,593,310株を控除して計算しております。

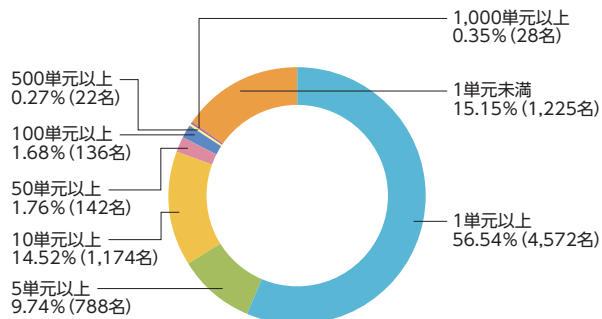
## 役員

取締役会長	太田 佳孝	取締役 (常勤監査等委員)	柳澤 光一郎
代表取締役社長	亀谷 淳一	社外取締役 (監査等委員)	岡本 忍
取締役	土屋 武	社外取締役 (監査等委員)	村瀬 孝子
取締役	松田 一弘		
取締役	岸村 伸洋		
社外取締役	村田 朋博		
社外取締役	佐久間 陽一郎		
社外取締役	依田 稔久		

## 所有者別株式数分布状況



## 所有株数別株主数分布状況



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 (プライム市場: 証券コード6941)
公告の方法	電子公告により行う (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

### 【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## IRサイトのご案内

IR情報はホームページからもご覧になれます。  
<https://www.yamaichi.co.jp/ir/>



今後も、「株主の皆様へ」の情報開示の内容を充実し、迅速に開示を行っていく所存です。

## 山一電機株式会社

〒144-8581 東京都大田区南蒲田2丁目16番2号  
 ☎03-3734-0115 (株主様専用) ☎03-3734-0120  
 ホームページアドレス <https://www.yamaichi.co.jp>



見やすいユニバーサルデザイン  
 フォントを採用しています。

